

平成 23 年 5 月 30 日

各 位

会社名 株式会社ウェッジホールディングス  
代表者名 代表取締役社長 田代 宗雄  
(コード 2388 大証 J A S D A Q 市場)  
問合せ先 取締役経営管理本部長 浅野 樹美  
(TEL 03 - 6225 - 2207)

## 昭和ホールディングス株式会社との業務提携に関する覚書締結についてのお知らせ

平成 23 年 5 月 30 日付で、当社は昭和ホールディングス株式会社(以下、「昭和ホールディングス」という。)の子会社となりました。(詳細につきましては、同日公表の「親会社及びその他の関係会社並びに主要株主の異動に関するお知らせ」をご覧ください。)また、平成 23 年 5 月 29 日付で、当社と昭和ホールディングスとの間で、今後の事業提携方針検討に関する覚書を締結しましたので下記の通りお知らせします。

### 1. 当社と昭和ホールディングスとの業務提携の背景

本日付の「親会社及びその他の関係会社並びに主要株主の異動に関するお知らせ」において開示いたしましたとおり、本日付で昭和ホールディングスが当社の親会社に該当することとなりました。

昭和ホールディングスは、主に日本国内でゴム製品製造販売業、ソフトテニス製品を初めとするスポーツ用品製造販売業を展開しております。当社と昭和ホールディングスは、従来までも、当社の事業開発本部を中心とした事業支援の枠組みの中で、スポーツ関連事業における販売促進支援等の協力関係を築いてまいりました。当社は、このたびの昭和ホールディングスによる株式取得に先立ちまして、両社間での更なる事業提携を促進し事業拡大に繋げていくために、両社での協業方向性の更なる検討を目的として、業務提携に関する覚書を締結いたしました。

### 2. 当社と昭和ホールディングスとの業務提携に関する覚書の内容

当社および昭和ホールディングスは下記の点において業務提携を推進することとし覚書を締結いたしております。

#### 1) 提携における方針

昭和ホールディングスは、当社の近年の業績拡大を評価し、当社の従来の経営方針を引き続き推進していくことを支持する方針といたしました。その上で両社は双方の事業発展に向けての協力をおこなう方針としております。

#### 2) スポーツ関連事業における協業推進

両社はそれぞれの子会社および出資先企業を通じて国内外にスポーツ関連事業を展開しております。昭和ホールディングスは子会社を通じて国内のテニスクラブ事業を運営し、国内でのテニス関連用品の製造販売を行っております。また当社は子会社の行う投資事業を通じた出資先企業に海外のテニスクラブ運営企業をもち、またテニス選手をはじめとしたアスリートに対するサプリメントの開発販売事業を手がけるなど、高い親和性が見込まれる事業を展開しております。両社はそれらスポーツ関連事業における具体的な協業を推進するべく具体的な施策を検討することといたしま

した。

### 3) アジア地域における協業推進

両社はそれぞれアジア地域における事業拡大を主要な事業方針に掲げております。昭和ホールディングスはマレーシアに子会社を保有し、アジア各国の市場開拓を子会社を通じて推進しております。当社は東南アジアを中心とした投資事業を拡大しタイ王国において高い成長と収益性をもつファイナンス事業会社をもつなどアジア地域での活動を拡大しております。両社はそれらの事業を協力して推進することにより事業シナジーの創出が見込まれるものとみて具体的な施策の検討を推進することといたしました。

### 4) 間接部門の業務に関する協業

両社の間接部門において行われる共通業務に関し、業務効率向上、業務品質改善、コスト削減などの観点から効果が見込まれる具体的な施策について、検討を推進してまいります。

### 5) 株式保有についての方針

昭和ホールディングスは、当社の親会社として当社株式の長期保有を行う方針としており、長期に安定的な関係を維持構築することを通じて、双方の企業価値向上に邁進してまいります。また、当社の事業拡大に伴い、財務的支援の必要性が発生した場合には、同社による支援も検討してまいります。

## 3. 昭和ホールディングスの概要

本日開示しております「親会社及びその他の関係会社並びに主要株主の異動に関するお知らせ」に記載のとおりです。

## 4. 業績に与える影響について

今回の業務提携に関する覚書締結による今期の業績に与える影響につきましては、軽微であります。今後具体的に提携方針が決定した場合には、公表させていただきます。

以 上